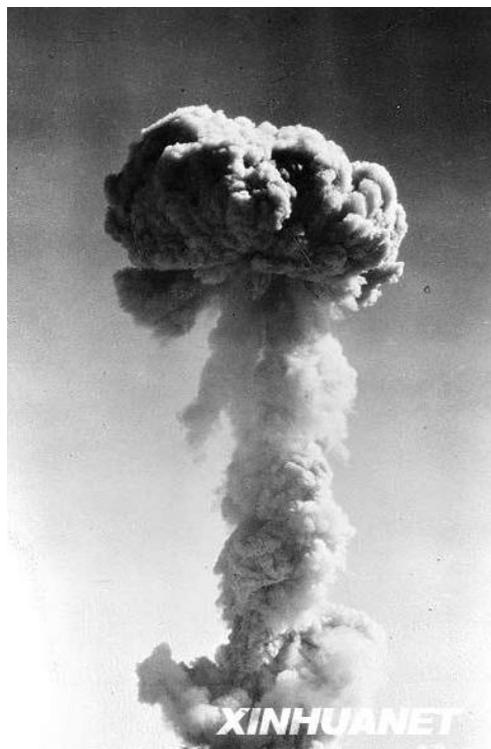


最近の中国核戦力整備の動向



中央：中国人民解放軍ロケット軍の2022年プロモーションビデオ
右上：初の核実験時の新華社報道写真

2024. 9. 20

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

目 次

- 1 中国の核戦略
- 2 核戦力整備状況
 - 全 般
 - 地上配備ミサイル
 - 潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM)
 - 爆撃機
- 3 まとめ

中国の核戦略

公式の核戦略（2019年国防白書）

- 自衛防御核戦略：他国の核の使用及び核による威嚇の抑止を目的
- 核政策
 - ・ いついかなる状況下でも核兵器の先制不使用
 - ・ 非核国・地域に対して無条件で核の使用及び核による威嚇はしない ⇒①
 - ・ 核戦力は国家の安全に必要な最低水準に維持 ⇒②

中国にとって見れば・・・

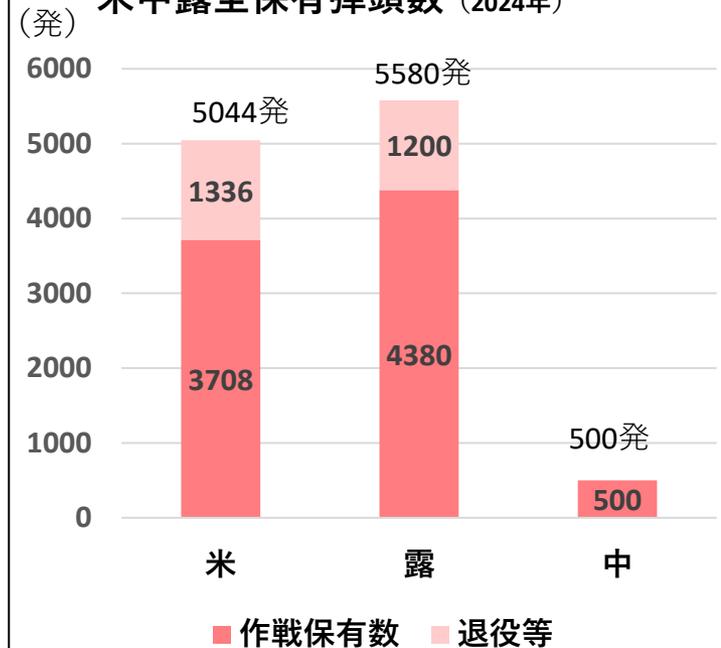
- ① 日米同盟により日本が米の核を対中威嚇として使用と中国が判断すれば日本は核保有国と同列

日米拡大抑止閣僚会議関連 国防部報道官発言（20240816）

- 日本は米による核抑止力を追求し、核拡散・衝突の危険を増大
中国に対し核兵器の使用及び核兵器を使用した威嚇を行わなければ、いかなる国家も中国から核兵器の威嚇を受けることはない

② 必要な最低水準には程遠い

米中露全保有弾頭数（2024年）

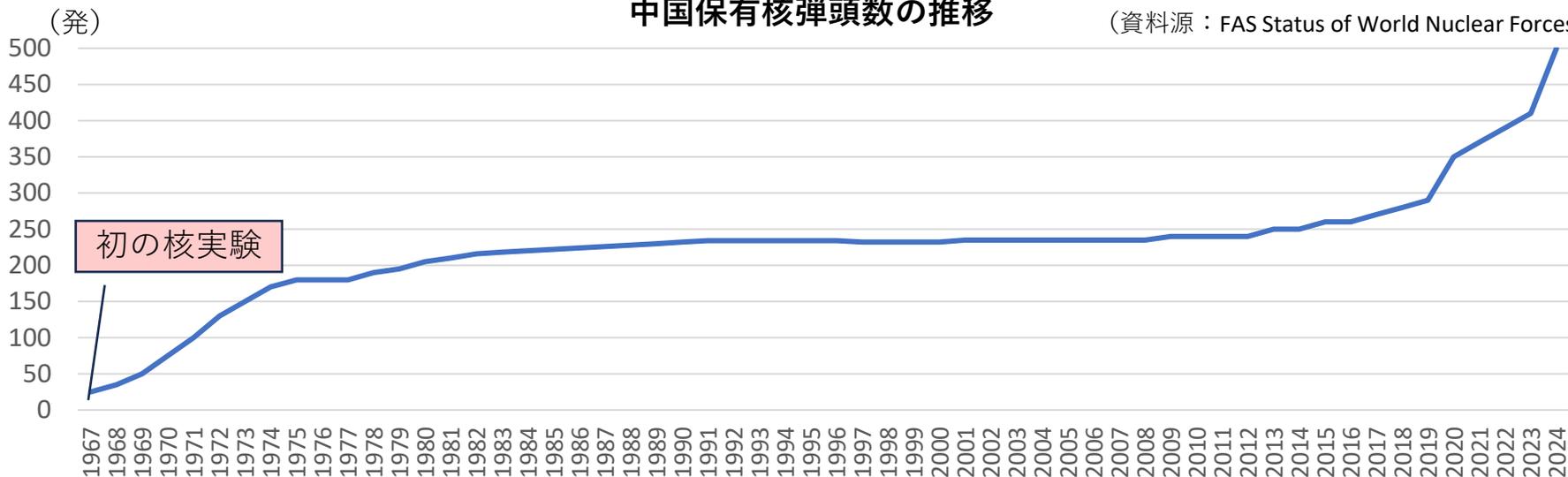


（資料源：SIPRI Yearbook2024）

中国の核戦力整備動向

中国保有核弾頭数の推移

(資料源：FAS Status of World Nuclear Forces)



地上配備	サロ式液体燃料ICBM	DF-5A	DF-5B
		車載式個体燃料ICBM	DF-31A, DF-31AG, DF-41
		固体燃料ICBMサロ	建設中
		MRBM	DF-21→, DF-21A→, DF-21E, DF-17
			IRBM, DF-26
海上		SSBN	1番艦 ~ 6番艦
		SLBM	JL-2, JL-3
空中		爆撃機	H-6K, H-6N

注：現在退役の可能性のあるサロ系列は除く

「最小限抑止」から「相互確証破壊」 (第1撃後に残存核戦力で確実に報復) へ転換を企図

台湾統一のための核戦力の役割



中国の核戦力(2024)

種類	発射体数	配備年	射程(km)	弾頭数×出力	弾頭数
爆撃機	20				20
H-6K	10	2009	3100	1X爆弾	10
H-6N	10	2020	3100	1XALBM	10
地上配備ミサイル	350				346
DF-5A (CSS-4M2)	6	1981	12000	1X4-5Mt	6
DF-5B (CSS4-M3)	12	2015	13000	5X200-300kt	60
DF-26 (CSS-18)	216	2016	>3000	1X200-300kt	108
DF31A/AG (CSS-10)	88	2007/2018	11200	1X200-300kt	88
DF-41 (CSS-20)	28	2020	12000	3X200-300kt	84
潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM)	6/72				72
JL-3	72	2022	>10000	(多弾頭)	72
その他					(62)
計	442				500

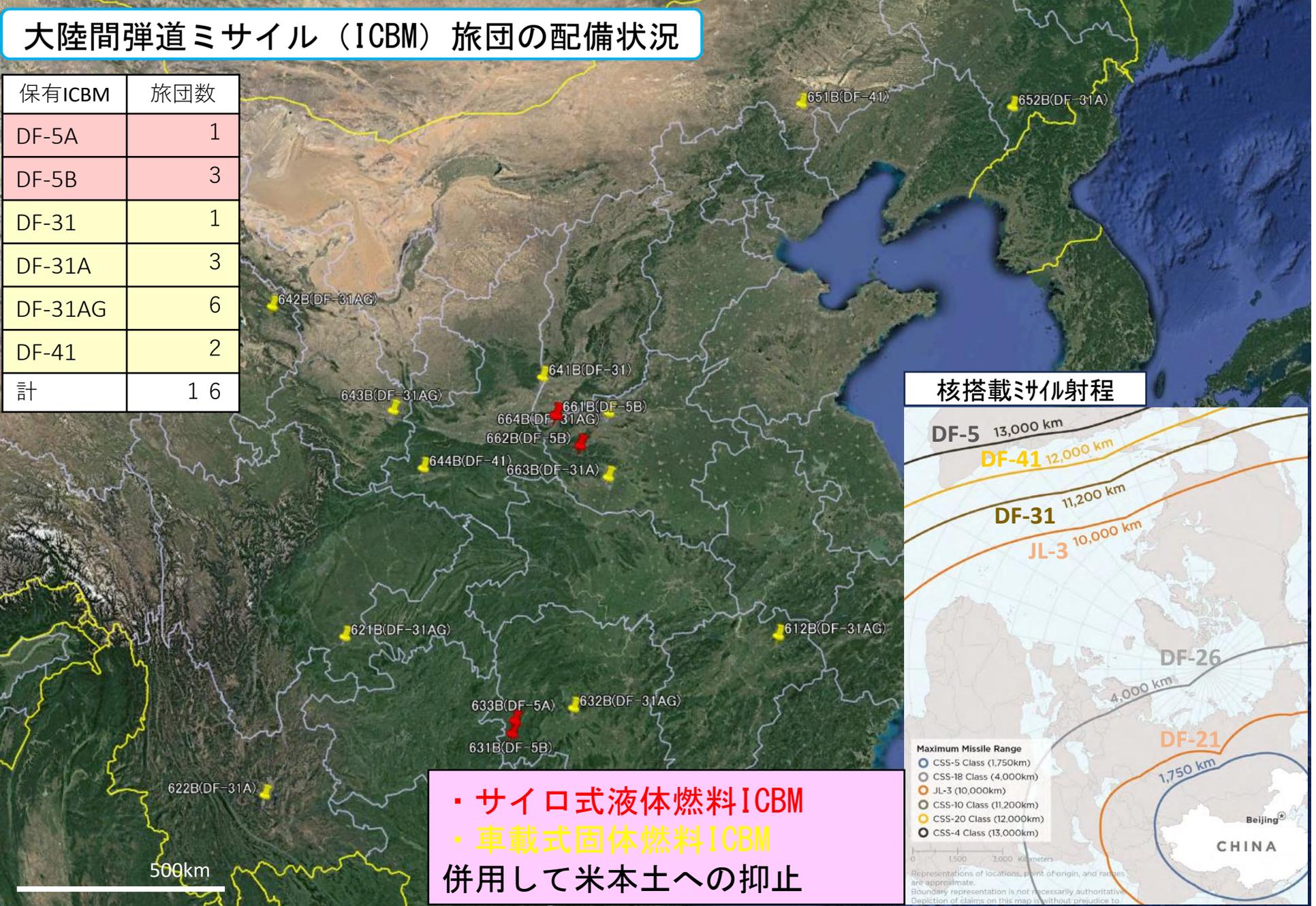
() :不確実

(資料源：SIPRI Yearbook 2024)

3本柱の内、**地上配備ミサイルが主力**、**隠密性の高いSLBM**で補完、爆撃機は開発途上

大陸間弾道ミサイル（ICBM）旅団の配備状況

保有ICBM	旅団数
DF-5A	1
DF-5B	3
DF-31	1
DF-31A	3
DF-31AG	6
DF-41	2
計	16

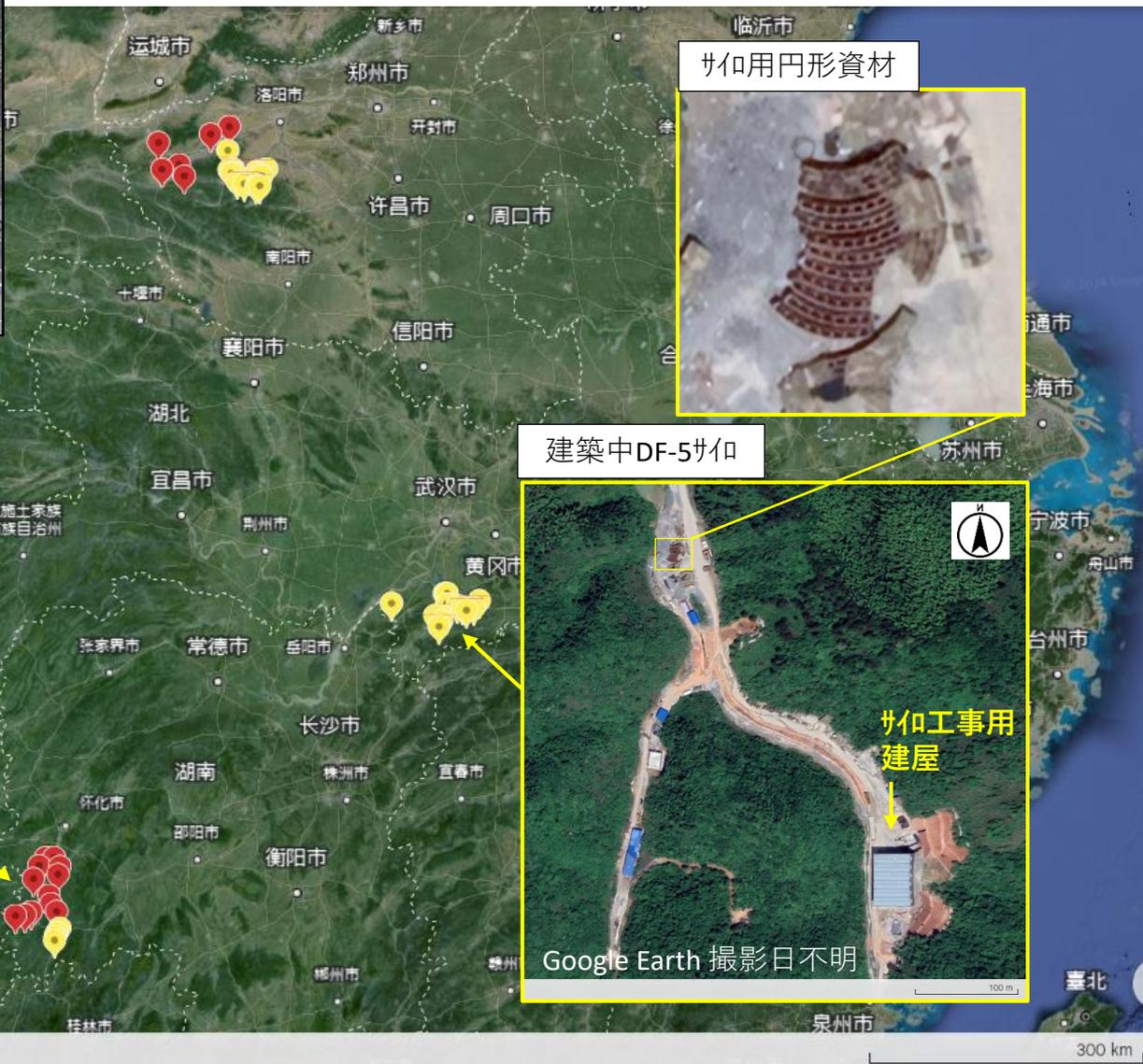


・サイロ式液体燃料ICBM
 ・車載式固体燃料ICBM
 併用して米本土への抑止

注：公開資料で確認できた旅団のみ。DF-41への換装の可能性が報道されている旅団も存在

参考：2023-MILITARY-AND-SECURITY-DEVELOPMENTS-INVOLVING-THE-PEOPLES-REPUBLIC-OF-CHINA、web_peoples_liberation_army_rocket_force_order_of_battle_07102023

DF-5（サイロ式液体燃料ICBM）：サイロの建造状況



- ：運用中サイロ（18）
 - ：建設中サイロ（30）
 - （）内は23年時点での確認数
- 資料源：
web_peoples_liberation_army_rocket_force_order_of_battle_07102023

サイロを分散、射程・ペイロードの最も大きいDF-5の残存性向上

DF-31AG (車載式固体燃料ICBM) 基地 (第621旅団 四川省)



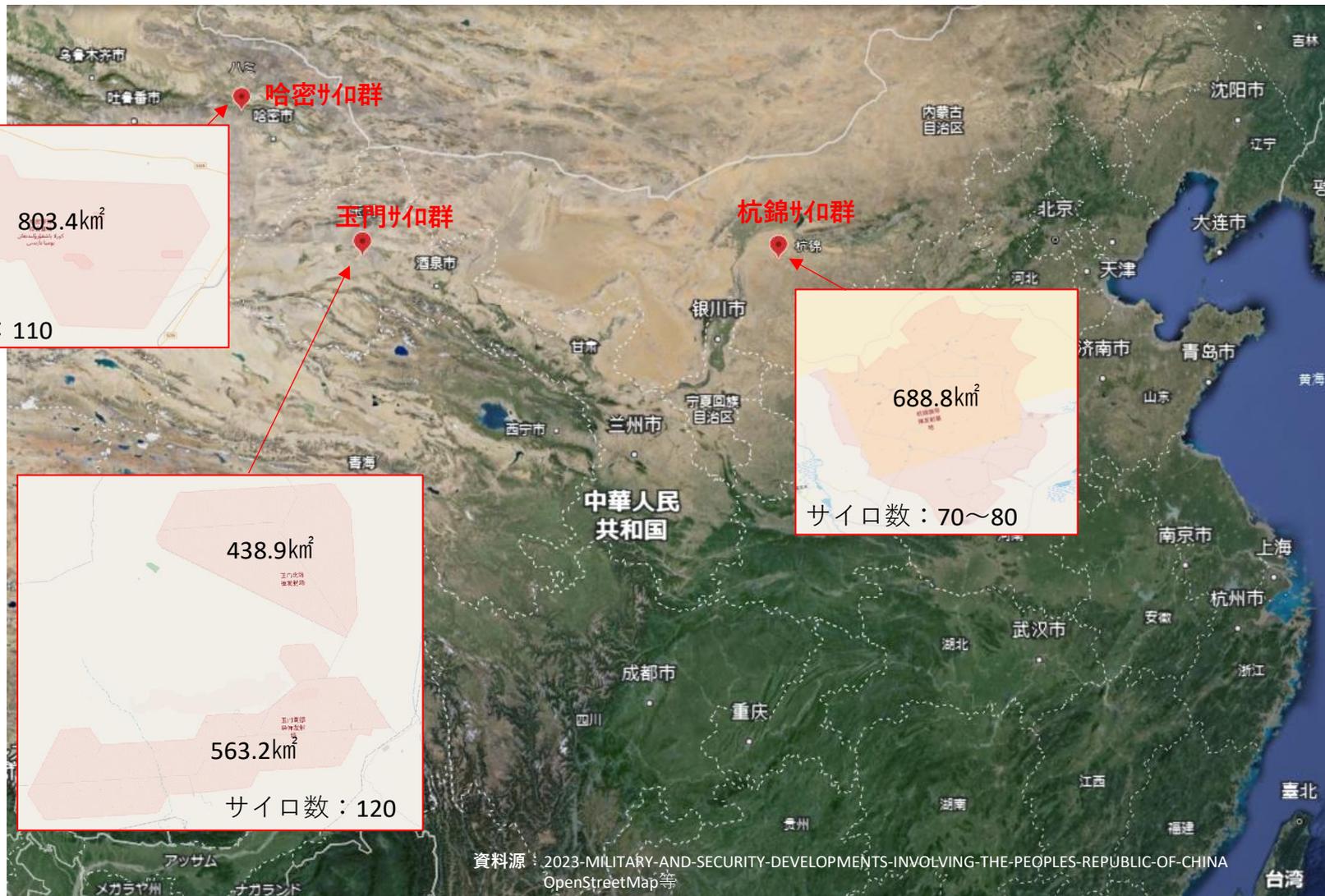
434m

30m

874m

DF-31AG, DF-41への換装を推進し、
ICBMの機動性・即応性を向上

固体燃料ICBM (DF-31/41) サイロ群の建設

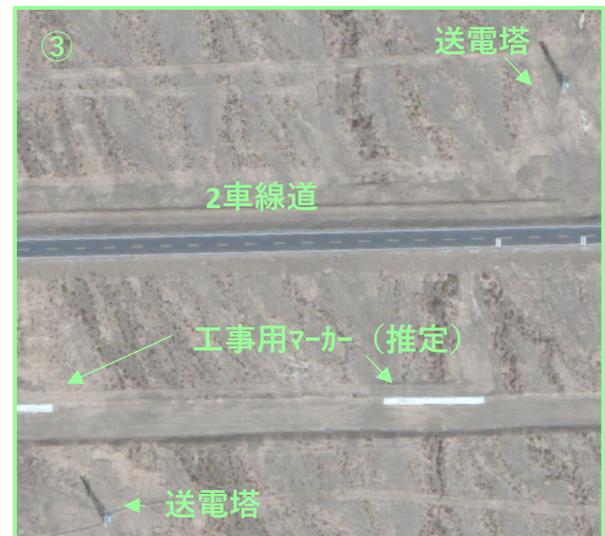
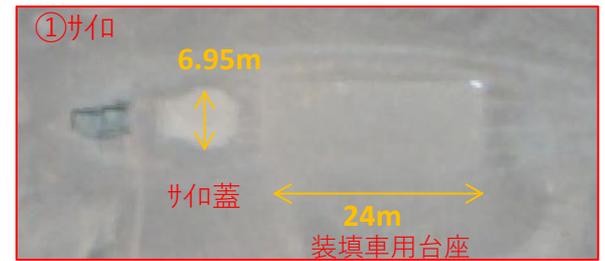
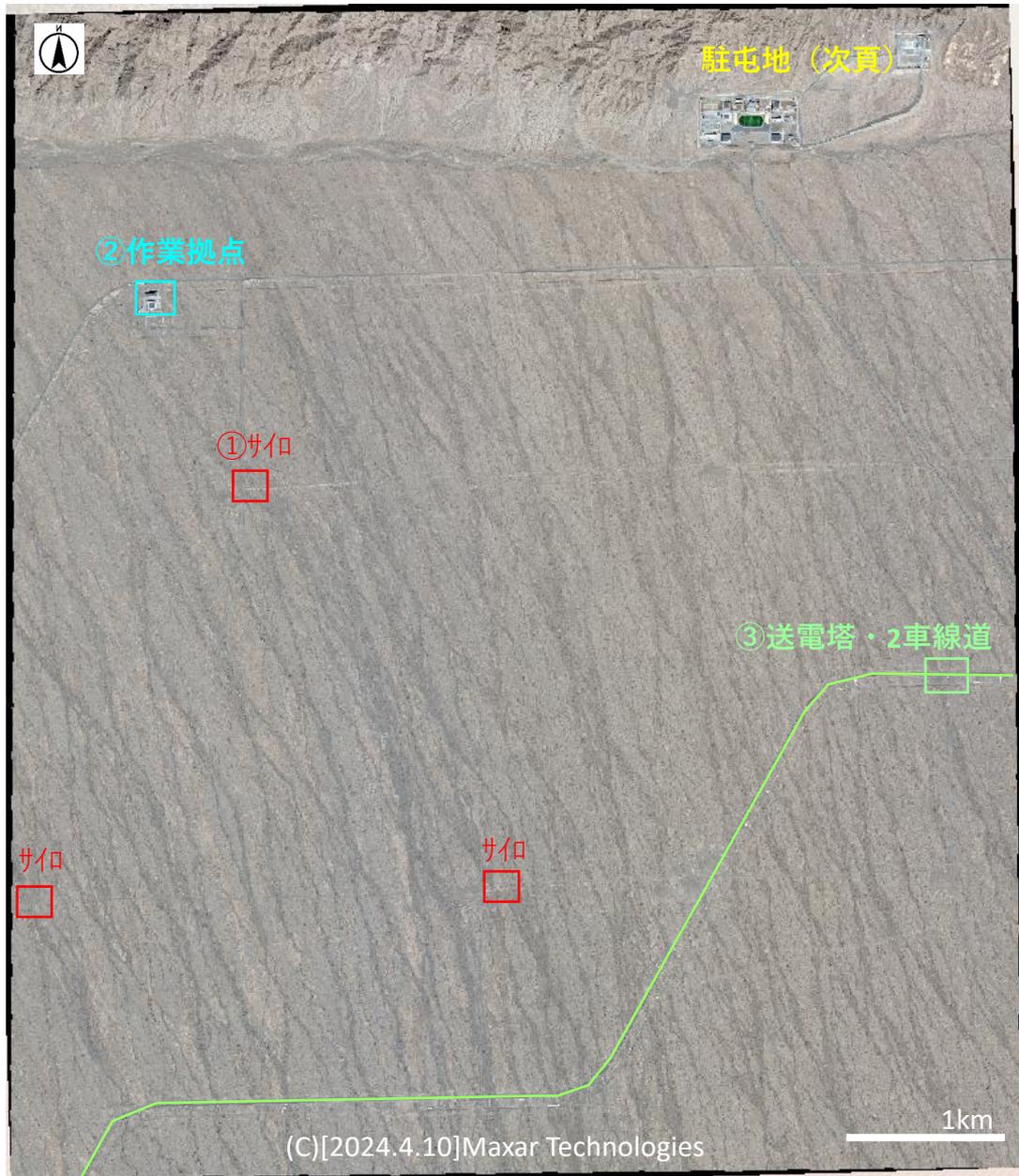


米の核ミサイル発射を探知後、中国着弾前に迅速に発射可能な固体燃料式ICBMサイロ群を建設中。LOW (警報即発射) 態勢確立を企図

玉門サイロ群全景2024. 9. 7



玉門サイロ駐屯地付近



玉門サイロ駐屯地

2024.4.10



正門↓

300m

① 国旗掲揚塔

② 車庫

新設建屋

弾薬庫 (推定)

本部庁舎↓

③

(C)[2024.4.10]Maxar Technologies

630m



① 国旗掲揚中



クレーン車↓

② 車庫

バス↑



③ 移動する人員とトラック



2023.1.11

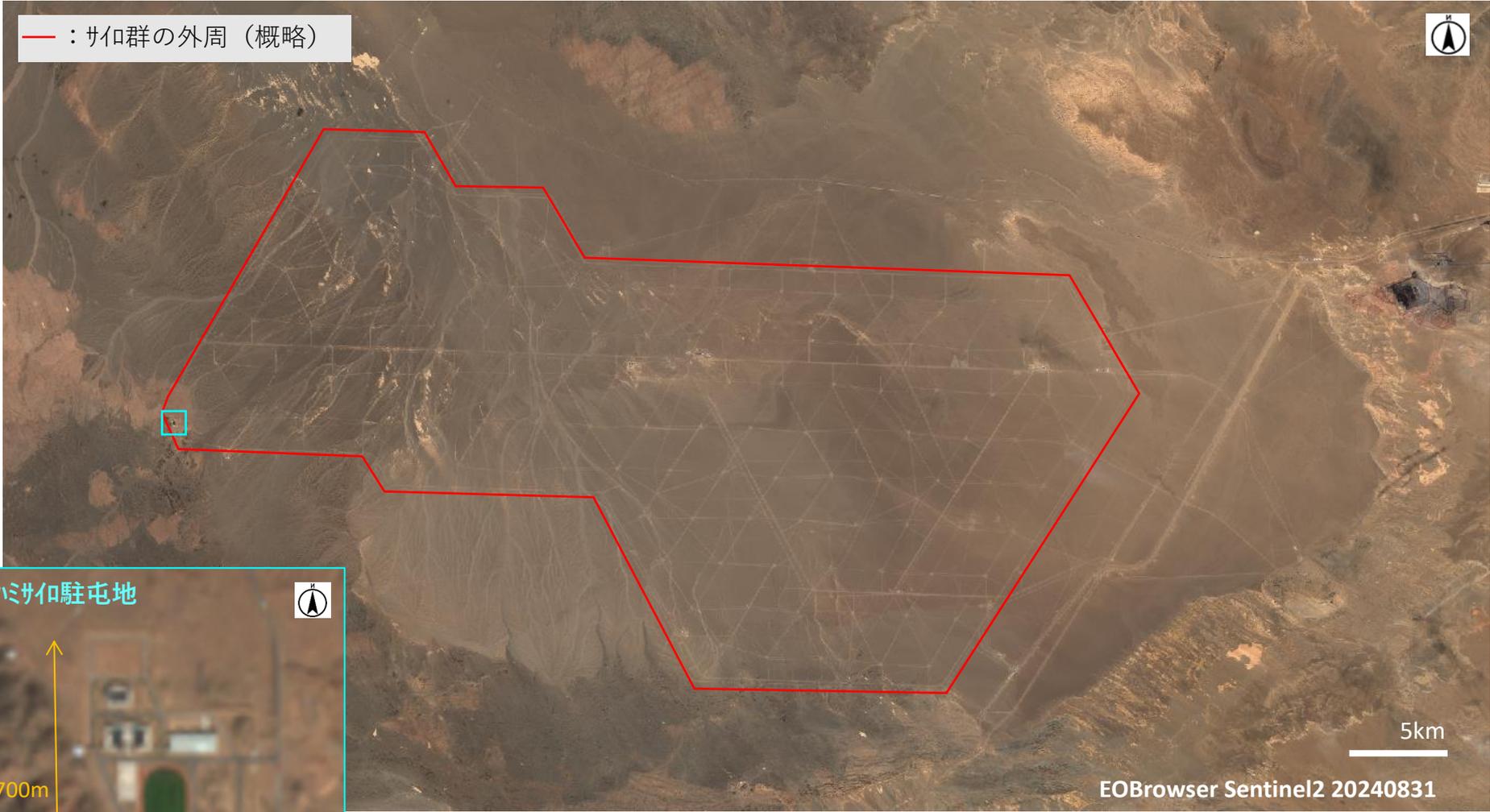


○ 駐屯地として使用しているものの、確認される車両はトラック・バス・建設車両が主であり、現時点では**ミサイル運用部隊**ではなく**建設部隊**の可能性が大

○ サロ自体の工事は終了も、周辺に工事中の個所が散見されることから、**サロ付帯設備の工事を継続**

(資料源：2023-MILITARY-AND-SECURITY-DEVELOPMENTS-INVOLVING-THE-PEOPLES-REPUBLIC-OF-CHINA)

ハミサイロ群全景2024. 8. 31



サイロ自体の工事は終了。駐屯地も概成

杭錦サイロ群全景2022. 1. 11 : サイロ工事中 (2022年6月にはサイロ概成)

— : サイロ群の外周 (概略)

次頁以降

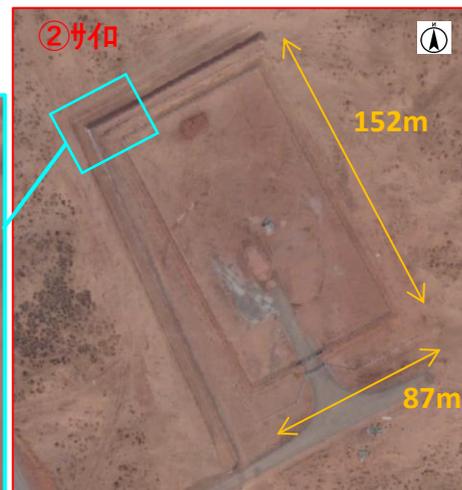
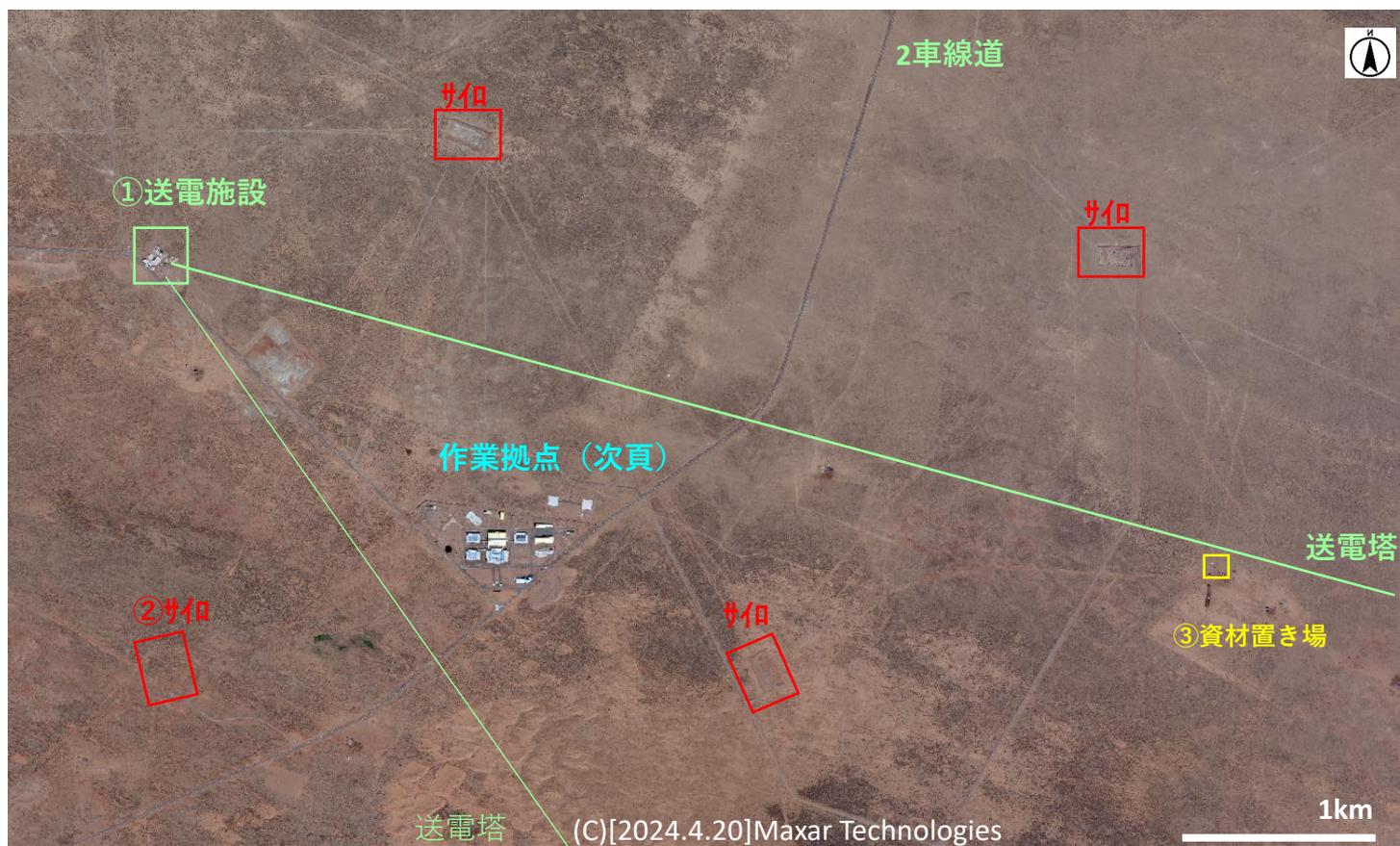
直径65mのドーム状天幕

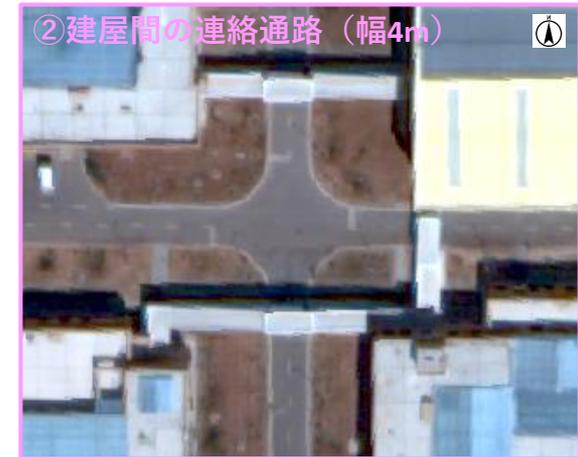
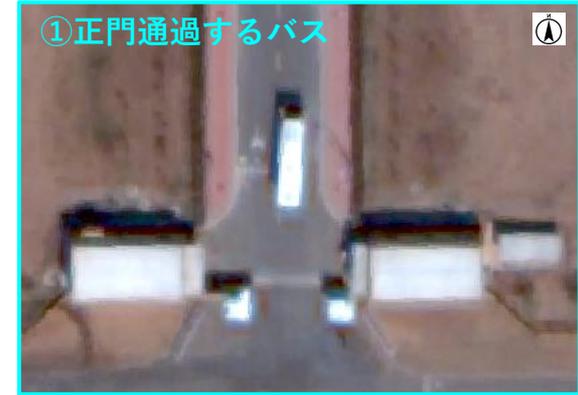


5km

newusu

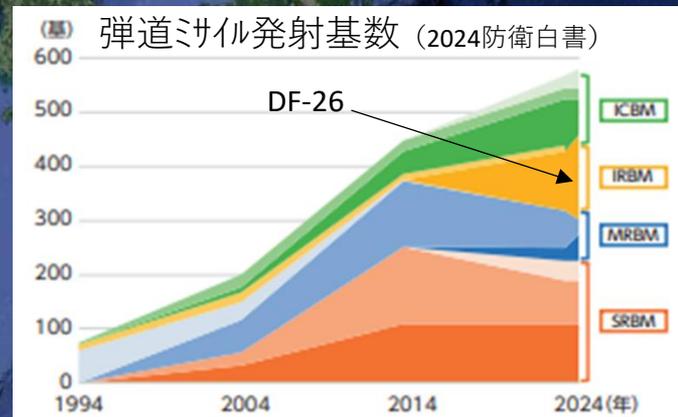
杭錦サイロ作業拠点
点付近2024. 4. 20





- サロ自体の工事は終了も、周辺に工事中の個所が散見されることから、**サロ付帯設備の工事を継続**
- サロ内には作業拠点は点在するものの、玉門・ハミのような駐屯地は確認できず。但し、**玉門・ハミとは工事手法が異なるため、運用に違いがありサイロ内ではなく、近傍に駐屯地を建設している可能性も否定できず**

DF-26：中距離弾道ミサイル（IRBM） [核・通常・対艦]



中国海岸線から 約3000km

グアム

参考：2023-MILITARY-AND-SECURITY-DEVELOPMENTS-INVOLVING-THE-PEOPLES-REPUBLIC-OF-CHINA、web_peoples_liberation_army_rocket_force_order_of_battle_07102023

第2列島線・印への核抑止及び非核ミサイルによる接近阻止に有効なDF-26を増強

DF-21A : 準中距離弾道ミサイル (MRBM) [核]

DF-21A / 射程約2000km



(資料源: MIISM)

DF-21A/E発射基数	40	Military balance2023
DF-21A/E核弾頭数	24	SIPRI2023 (2024年版は0)



611B基地から
2000km

中国海岸から
2000km

611B基地から
2000km

MRBM級 (推定)



Google Earth Pro 20211129

核搭載MRBMにより日本に対する核抑止態勢維持

DF-21A基地拡張状況（第611旅団 安徽省）



改修工事中。射程延長したDF-21Cや最新型DF-21E等改良型への換装の可能性あり

地上配備ミサイル訓練場（山東省）



- ミサイル部隊は有事の際、**基地外の地下施設を伴う発射陣地に展開**
- 装填・整備は地下、発射時のみ屋外に展開、発射後移動し**残存性向上**

核搭載原子力潜水艦 (SSBN) 配備基地

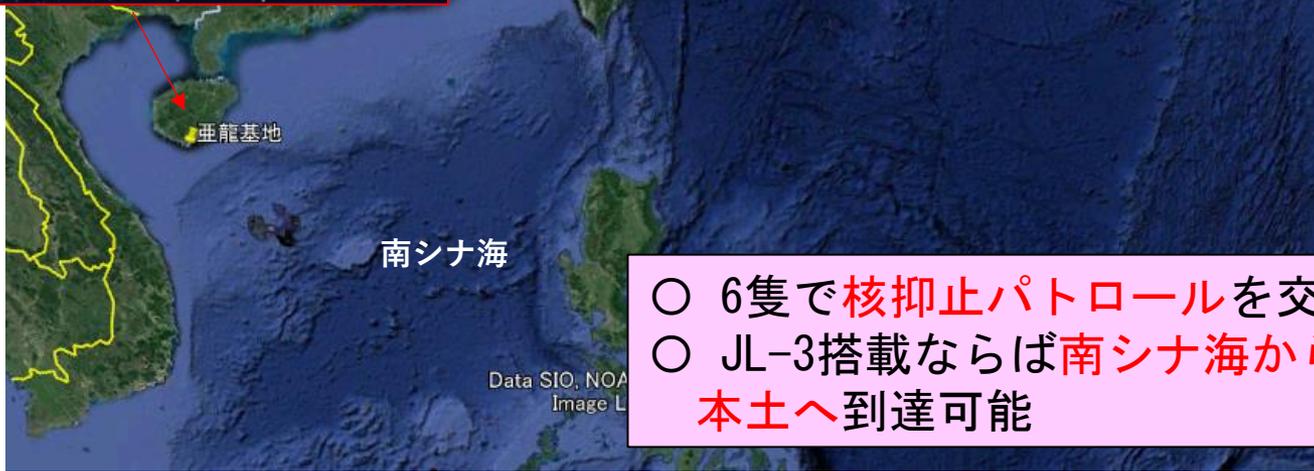
Jin級SSBN6番艦の就役式 (20210423)



渤海造船ドック内のJin級SSBN



亜龍基地に停泊するJin級SSBN



- 6隻で核抑止パトロールを交代実施
- JL-3搭載ならば南シナ海から米本土へ到達可能

SSBN配備基地の状況（海南省 亜龍）



SSBN用棧橋を拡張。整備・ミサイル搭載等は地下施設で**秘匿**

H-6爆撃機 配備基地

H-6K/作戦半径3500km
(巡航ミサイル・核爆弾搭載)



H-6N (ALBM搭載)



H-6Nは給油により**第2列島線以遠**に進出可能

武功基地

内郷基地

六安基地

安慶基地

馬鞍基地

邵東基地

耒陽基地

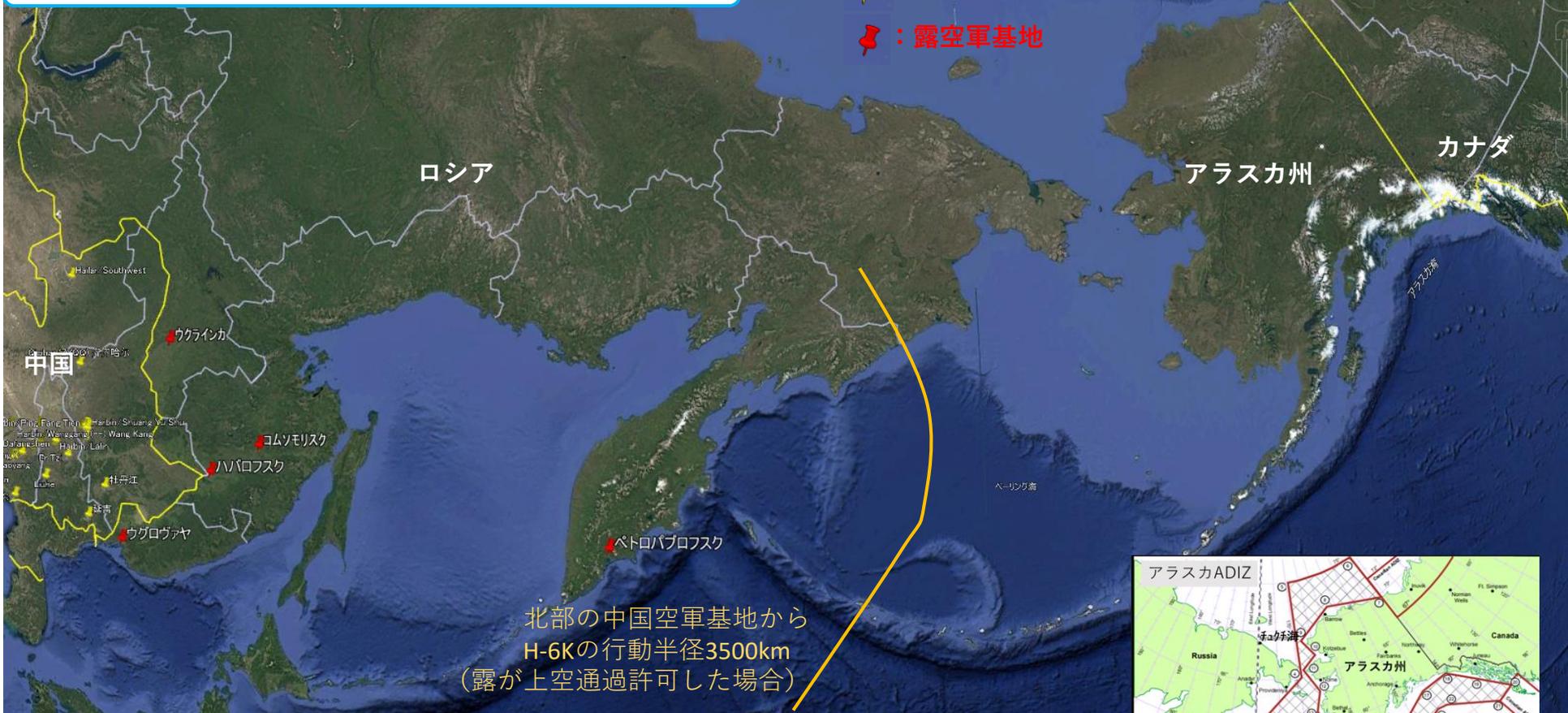
H-6爆撃機 × 24

33m

H-6K爆撃機：ロシア軍基地からの飛行

📌：中国空軍基地

📌：露空軍基地



中爆撃機に対応する米加戦闘機



(資料源：NORAD20240726)

本年7月、中露はアラスカADIZ内において共同空中戦略パトロールを実施
⇒ **露**空軍基地を借用すれば、**爆撃機**による米本土への**攻撃**が可能と誇示

爆撃機基地の状況：内郷基地（河南省）



敵の**第一撃**から**残存**して出撃できるよう地下施設を整備



1 核戦略

- 対米：台湾侵攻時の米軍介入を阻止するため、最小抑止から**相互確証破壊**へ転換を企図
- 対日：日米同盟により**非核国と見なさない**と恫喝、米軍への支援抑制を企図

2 核戦力

- 地上配備ミサイルを主力とした核戦力3本柱を保有
- IRBMの新配備、既配備ミサイルの改良等により、核戦力を増強。
3か所のICBMサイロ群が運用開始されれば米に対する**LOW態勢確立**に寄与

3 核防護

- 敵の第1撃から残存・反撃するため**サイロ化・地下施設化・潜水艦搭載化**推進

『孫子』

勝兵は必ず勝ちて、而る後に戦いを求め、
敗兵は先ず戦いて而る後に勝ちを求む



勝軍は開戦前
に既に勝てる
態勢を整えて
戦争する

